

第76回国民体育大会 三重県準備委員会

第2回 施設専門委員会



三重とこわか国体

第76回国民体育大会 ときめいて人 かがやいて未来 2021

平成30年3月2日(金)

三重県講堂棟 132会議室

第76回国民体育大会 三重県準備委員会 第2回施設専門委員会次第

期日：平成30年3月2日（金）10:30～11:30

会場：三重県講堂棟3階 132会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告事項

- (1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 施設専門委員会委員の変更 P 2
- (2) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過 P 3
- (3) 第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金制度について P 8

4 審議事項

- (1) 第76回国民体育大会 競技施設基準の改定（案）について P 12

5 意見交換

- (1) 第76回国民体育大会 開・閉会式会場等整備について P 22

6 その他

- (1) 今後の国体開催準備スケジュール P 26

7 閉 会

【参考資料】

- (1) 第76回国民体育大会三重県準備委員会 施設専門委員会委員名簿 P 27

第 76 回国民体育大会三重県準備委員会 施設専門委員会委員の変更

第 1 回施設専門委員会(平成 24 年 10 月 16 日)以降における委員等の変更について、
第 76 回国民体育大会三重県準備委員会会則第 13 条第 4 項の規定により報告します。

(順不同：敬称略)

区分	所属機関・団体・役職名	旧	新
市町関係	三重県市町教育長会 (三重県都市教育長部会長)	小林 壽一	上島 和久
	三重県市町教育長会 (三重県町教育長部会長)	西岡 恵三	岡野 譲治
スポーツ 関係	(公財) 三重県体育協会 理事長	田中 敏夫	東地 隆司
	三重県スポーツ推進審議会 委員	鈴木 忠彦	宇佐美 好孝
福祉・障 がいスポ ーツ関係	ユニバーサルデザインのまちづくり 推進協議会 会長	土川 禮子	宮崎 つた子
県関係	健康福祉部 人権・危機管理監	丹羽 健	—
	健康福祉部 地域福祉課長	—	磯田 晋一
	地域連携部スポーツ推進局スポーツ推進課長	村木 輝行	林 幸喜
	県土整備部 道路管理課長	福島 敏彰	中平 弘
	県土整備部 流域管理課長	堀江 俊光	—
	県土整備部 河川課長	—	松本 英之
	県土整備部 港湾・海岸課長	—	城本 典洋
	教育委員会事務局 学校施設課長	加藤 丈雄	—
	教育委員会事務局 学校経理・施設課長	—	田中 彰二
	教育委員会事務局 保健体育課長	吉田 光徳	野垣内 靖

第76回国民体育大会三重県準備委員会 開催準備経過

年度	月	日	開催準備	主な内容
平成 23 年度	8	24	県体育協会からの要望	三重県体育協会から、平成33年の国民体育大会の開催について、知事、県教育長に対して、要望がなされました。
	9	1		同じく、県議会議長に対して、要望がなされました。
	9	14	県議会における招致表明	第3回定例会において、知事が平成33年の第76回国民体育大会について招致表明をしました。
	10	18	県議会における決議	県議会において、「第76回国民体育大会の招致に関する決議」が決議されました。
	11	15	開催要望書の提出	開催招致表明等を受けて、県、県教育委員会、県体育協会の連名により、文部科学省、日本体育協会に開催要望書を提出しました。
	1	11	本県開催の内々定	日本体育協会 理事会において、平成33年第76回国民体育大会の本県開催が内々定されました。
平成 24 年度	8	31	三重県準備委員会設立総会、第1回総会の開催	三重県準備委員会が設立され、「開催基本方針」、「事業計画」、「収支予算」、「総会から常任委員会への委任事項」について審議し、決定しました。
			第1回常任委員会の開催	「会場地市町選定基本方針」、「県及び会場地市町の業務分担・経費負担基本方針」、「競技施設整備基本方針」、「競技役員等養成基本方針」、「広報基本方針」等について審議し、決定しました。
	10	15	第1回総務企画専門委員会の開催	「会場地の選定に向けた取組に係る基本的な考え方」について審議しました。
	10	16	第1回施設専門委員会の開催	「 <u>競技施設基準</u> 」(案)について審議しました。
	10	19	第1回市町連絡調整会議、第1回競技団体連絡調整会議の開催	「会場地の選定に向けた取組に係る基本的な考え方」について説明し、市町、及び競技団体に対して、会場地選定の作業に着手するよう要請しました。
	2	25	第1回競技専門委員会の開催	「競技役員等編成基本方針」(案)、「競技役員等養成基本計画」(案)について審議しました。
平成 25 年度	5	17	第2回総務企画専門委員会の開催	「開催準備総合計画」(案)、「県及び会場地市町の業務分担・経費負担細目」(案)、「会場地市町一次選定候補」(案)について審議しました。
	5	29	第2回常任委員会の開催	「 <u>会場地市町一次選定</u> 」、「 <u>開催準備総合計画</u> 」、「 <u>県及び会場地市町の業務分担・経費負担細目</u> 」、「 <u>競技施設基準</u> 」等について審議し、決定しました。
	7	2	第2回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。

平成 25 年度	7	8	第2回市町連絡調整会議の開催	「会場地市町一次選定」、「二次選定以降の進め方」、「中央競技団体正規視察の取組」等について説明しました。
			第2回競技団体連絡調整会議の開催	「会場地市町一次選定」、「二次選定以降の進め方」、「中央競技団体正規視察の取組」、「競技役員編成・養成に関する基礎調査」等について説明しました。
	9	11	第1回広報・県民運動専門委員会の開催	「広報基本計画」(案)、「効果的な広報活動」について審議しました。
	3	14	第3回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町二次選定候補」(案)、「公開競技実施基本方針」(案)について審議しました。
			第2回競技専門委員会の開催	「競技運営基本方針」(案)について審議しました。
3	25	第3回常任委員会の開催	「会場地市町第二次選定」、「公開競技実施基本方針」、「競技運営基本方針」、「広報基本計画」について審議し、決定しました。	
平成 26 年度	5	16	第3回市町連絡調整会議の開催	「会場地市町第三次選定並びに第四次選定」、「公開競技の実施」、「中央競技団体正規視察」等について説明しました。
			第3回競技団体連絡調整会議の開催	「会場地市町第三次選定並びに第四次選定」、「中央競技団体正規視察」、「役員養成事業の実施」等について説明しました。
	7	17	第3回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	8	12	第4回市町連絡調整会議の開催	「国体開催における施設整備補助制度」等について説明しました。
	9	10	第4回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町第三次選定候補」(案)、「公開競技会場地市町第一次選定候補」(案)、「総合開・閉会式会場地選定候補」(案)について審議しました。
	9	17	第4回常任委員会の開催	「会場地市町第三次選定」、「公開競技会場地市町第一次選定」、「総合開・閉会式会場地選定」について審議し、決定しました。
	1	20	第5回市町連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察」、「競技用具整備の概要」、「国体開催における施設整備補助」等について説明しました。
			第4回競技団体連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察」、「競技用具整備の概要」等について説明しました。
	2	19	第2回広報・県民運動専門委員会の開催	「県民運動基本方針」(案)、「愛称・スローガンの制定」等について審議しました。
	3	13	第3回競技専門委員会の開催	「競技用具整備基本方針」(案)、「競技用具整備要項」(案)、「デモンストラレーションスポーツ実施基本方針」(案)について審議しました。

平成 26 年度	3	13	第5回総務企画専門委員会の開催	「開催基本構想策定の進め方について」(案)、「会場地市町第四次選定候補」(案)、「会場地市町における開催予定施設の変更について」(案)、「公開競技会場地市町第二次選定候補」(案)について審議しました。
	3	18	第5回常任委員会の開催	「開催基本構想策定の進め方」を報告し、「会場地市町第四次選定」、「公開競技会場地市町第二次選定」、「デモンストレーションスポーツ実施基本方針」、「県民運動基本方針」、「競技用具整備基本方針」、「常任委員会から専門委員会への付託事項および委任事項 変更」等について審議し、決定しました。
平成 27 年度	4	27	第6回市町連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察に向けた準備」、「開催基本構想策定」等について説明しました。
	5	14	第5回競技団体連絡調整会議の開催	「中央競技団体正規視察に向けた準備」、「競技役員等養成事業」等について説明しました。
	7	16	第6回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町第五次選定候補」(案)、「公開競技会場地市町第三次選定候補」(案)、「開催基本構想(素案)(案)」について審議しました。
	7	16	第3回広報・県民運動専門委員会の開催	「県民運動基本計画」(案)、「愛称・スローガンの選定」(案)について審議しました。
	7	27	第6回常任委員会の開催	「マスコットキャラクターの募集」を報告し、「会場地市町第五次選定」、「公開競技会場地市町第三次選定」、「開催基本構想(素案)」、「県民運動基本計画」、「愛称・スローガンの選定」について審議し、決定しました。
	7	27	第4回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	8	10	中央競技団体による正規視察の開始(順次実施)	国民体育大会正式競技及び特別競技にかかる中央団体の正規視察を開始しました。
	12	15	第1回輸送・交通専門委員会の開催	「輸送・交通基本方針」(案)について審議しました。
	12	25	第1回警備・消防専門委員会の開催	「警備・消防防災基本方針」(案)について審議しました。
	1	19	第7回総務企画専門委員会の開催	「会場地市町第六次選定候補」(案)、「開催基本構想(最終案)(案)」について審議しました。
	1	19	第4回広報・県民運動専門委員会の開催	「マスコットキャラクターの選定」(案)について審議しました。

平成 27 年度	1	25	第7回常任委員会の開催	「マスコットキャラクター愛称及び規定書体の募集、選定」、「デモンストレーションスポーツの募集」を報告し、「会場地市町第六次選定」、「開催基本構想」、「マスコットキャラクターの選定」、「輸送・交通基本方針」、「警備・消防防災基本方針」等について審議し、決定しました。
平成 28 年度	5	10	第7回市町連絡調整会議及び第6回競技団体連絡調整会議の開催	「第76回国民体育大会の会期」、「マスコット展開形に関するデザイン確認依頼」、「施設及び競技用具に関する調査」等について説明しました。
	6	1	開催申請書の提出	県体育協会会長、県知事、県教育委員会の連名により、日本体育協会、文部科学省に開催申請書を提出しました。
	7	20	本県開催の内定	日本体育協会 理事会において、平成33年第76回国民体育大会の本県開催が内定されました。
	7	21	第5回広報・県民運動専門委員会の開催	「マスコットキャラクター愛称の入選作品」(案)について審議しました。
	7	22	第1回宿泊専門委員会の開催	「宿泊基本方針」(案)、「宿泊基本計画」(案)について審議しました。
	8	2	第8回常任委員会の開催	「宿泊基本方針」、「宿泊基本計画」、「マスコットキャラクター愛称の選定」について審議し、決定しました。
	8	2	第5回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」について審議し、決定しました。
	12	22	第6回広報・県民運動専門委員会の開催	「イメージソングの制作手続きについて」、「三重とこわか国体イメージソング募集要項」等について審議し、決定しました。
	2	1	第8回市町連絡調整会議及び第7回競技団体連絡調整会議の開催	「第76回国民体育大会の会期の決定に向けた取組」、「競技会の開催に向けた取組」、「宿泊及び輸送に関する取組」等について説明しました。
	2	17	第8回総務企画専門委員会の開催	「大会会期案」(案)、「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第一次選定候補」(案)について審議しました。
	3	1	第2回輸送・交通専門委員会の開催	「輸送・交通基本計画」(案)について審議しました。
	3	3	第1回医事・衛生専門委員会の開催	「医事・衛生基本方針」(案)、「医事・衛生基本計画」(案)について審議しました。
	3	27	第9回常任委員会の開催	「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町第一次選定」、「輸送・交通基本計画」、「医事・衛生基本方針」、「医事・衛生基本計画」について審議し、決定しました。

平成 29 年度	5	10	第9回市町連絡調整会議 及び第8回競技団体連絡 調整会議の開催	「三重とこわか国体の大会会期及び競技別会期の 決定までのスケジュール」、「イメージソングの制 作」、「会場地市町における配宿業務」等について説 明しました。
	7	4	第9回総務企画専門委員 会の開催	「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及 び会場地市町第二次選定候補」(案)について審議 しました。
	7	11	第7回広報・県民運動専 門委員会の開催	「イメージソング最優秀賞候補について」(案)に ついて審議しました。
	7	31	第10回常任委員会の開催	「デモンストレーションスポーツ実施競技選択及 び会場地市町第二次選定」、「募金・企業協賛基本 方針」、「イメージソングの選定」について審議し、 決定しました。
	7	31	第6回総会の開催	「事業報告」、「収支決算」、「事業計画」、「収支予算」 について審議し、決定しました。
	1	31	第10回市町連絡調整会議 の開催	「広報・県民運動の取組状況」、「福井しあわせ元気 国体の開催日程」等について説明しました。
	2	13	第2回警備・消防専門委 員会の開催	「警備・消防防災基本計画」(案)について審議し ました。
	2	14	第2回医事・衛生専門委 員会の開催	「防疫対策要項」、「食品衛生対策要項」、「環境衛生 対策要項」について審議し、決定しました。
	2	15	第10回総務企画専門委員 会の開催	「会場地市町第七次選定候補」(案)、「デモンスト レーションスポーツ実施競技選択及び会場地市町 第三次選定候補」(案)、「会場地市町における開催予 定施設の変更について」(案)、「競技別リハーサル大 会開催基準要項」(案)について審議しました。
	2	16	第2回宿泊専門委員会の 開催	「宿泊施設充足対策要項」について審議し、決定し ました。
2	27	第1回式典専門委員会の 開催	「式典基本方針」(案)について審議しました。	
2	27	第3回輸送・交通専門委 員会の開催	輸送・交通業務における課題について意見交換しま した。	

第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金制度について

1 補助目的

第76回国民体育大会の円滑な運営をはかるため、競技会場地となる市町が実施する国体競技施設の整備事業に要する経費について支援を行う。

2 実施予定年度

平成27年度～平成33年度(7年間)

3 対象事業等

(1) 要件

要件1：補助手続きに先立って、国庫補助やtotoなどの特定財源を確保できるよう努めることとする。

要件2：補助対象事業

市町が行う競技施設整備事業のうち、以下のいずれかに該当する事業

- ①日体協の「国民体育大会施設基準」並びに本県準備委員会の「競技施設基準」を満たすために行う必要最小限の整備事業
- ②国体競技会開催時における参加者の危険防止のために行う必要不可欠な整備事業
- ③その他中央競技団体正規視察時の指摘事項に基づいて行う必要最小限の整備事業

(2) 事業区分等

施設の新設等を除く下記の事業とする。

事業区分		補助対象経費	補助率	補助限度額
一般 競技 施設	特殊競技施設以外の競技施設における既存施設の改修に係る整備事業	①設計費 ②工事費 ③その他、知事が必要と認める経費	1/2 以内	1施設当たり1億円 (複数年度の通算とする)
特殊 競技 施設	県内に施設基準を満たす施設がない施設や、自然環境を利用するなどの理由で通常の社会体育施設としての整備がなじまない施設などの事由で、国体開催に合わせて仮設により整備される競技施設の整備事業 ①ボート、②ホッケー、③セーリング、④自転車(ロード)、⑤馬術、⑥弓道(遠的)、⑦スポーツクライミング、⑧カヌー、⑨アーチェリー、⑩トライアスロン、⑪クレール射撃	①設計費 ②工事費(仮設に必要な委託、リース、解体撤去、原状回復に要する経費を含む) ③補償費 ④その他、知事が必要と認める経費	10/10 以内	知事が必要と認める額

4 対象外の経費

市町が行う競技施設整備事業のうち、以下の経費は補助対象外とする。

- (1) 土地取得
- (2) 造成に係る費用（特殊競技施設に係るものを除く。）
- (3) 補償費（特殊競技施設に係るものを除く。）
- (4) 備品購入費
- (5) 外構、進入路、植栽、駐車場その他これらに類するものの整備費
- (6) 練習会場の整備費
- (7) 施設の維持管理上、通常必要となる維持補修費
- (8) 仮設施設の整備費（特殊競技施設に係るものを除く。）
- (9) 県の他の補助金等の交付を受けて行う整備費
- (10) 既に補助金の交付を受けた事業と同一内容の事業を再度行う場合における当該事業に係る整備費（特殊競技施設に係るものを除く。）
※リハーサル大会で整備したものを一度撤去したあと、国体時に合わせて仮設する経費は対象とする。
- (11) 整備終了年度までの補助対象経費が通算して 500 万円未満の整備費（特殊競技施設に係るものを除く。）

5 補助金の額の算定等

県補助額 = (補助対象経費 - 特定財源) × 補助率

※国庫補助金、民間団体の助成金、その他補助金等の特定財源については補助金の額の算定から控除する。

第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金を活用した事例紹介

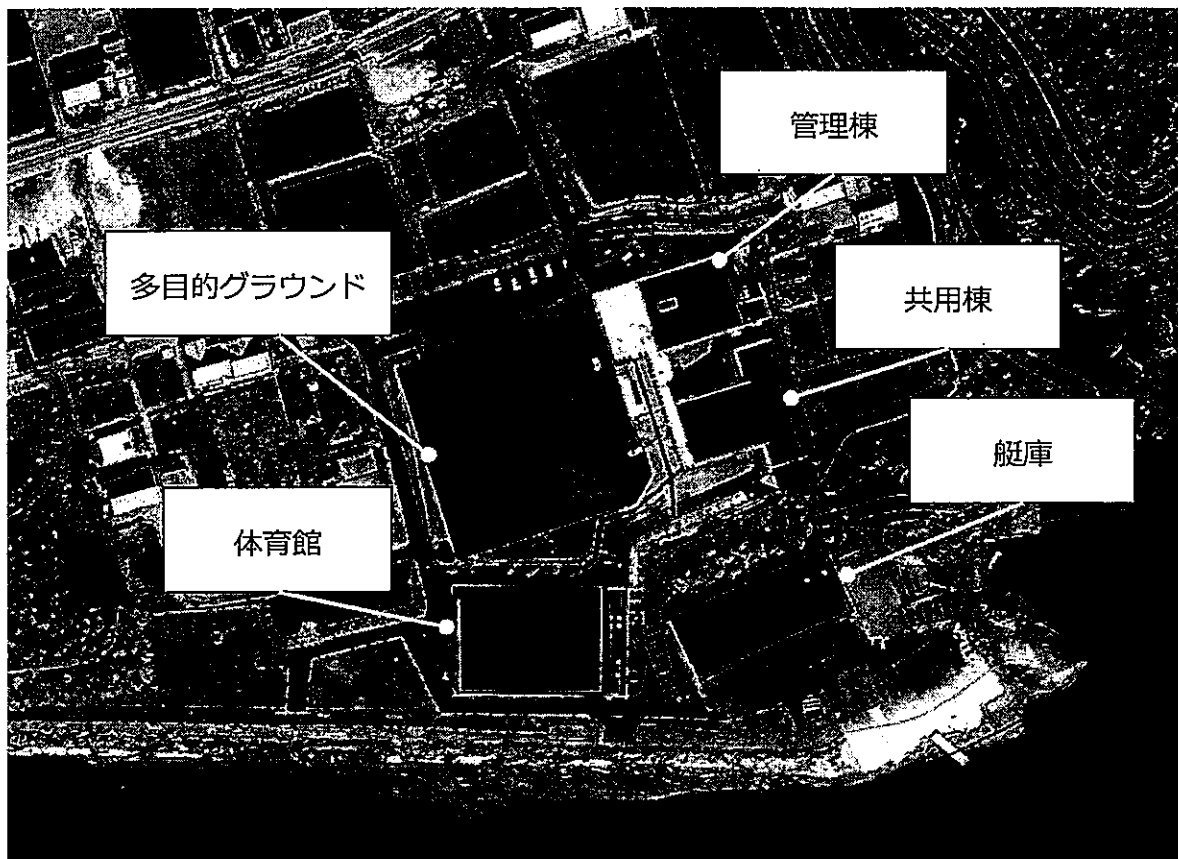
第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金を活用し、平成28年度に実施した大台町の「ボート競技施設基本設計(陸上部)」について、その概要を紹介いたします。

1 基本設計実施の目的

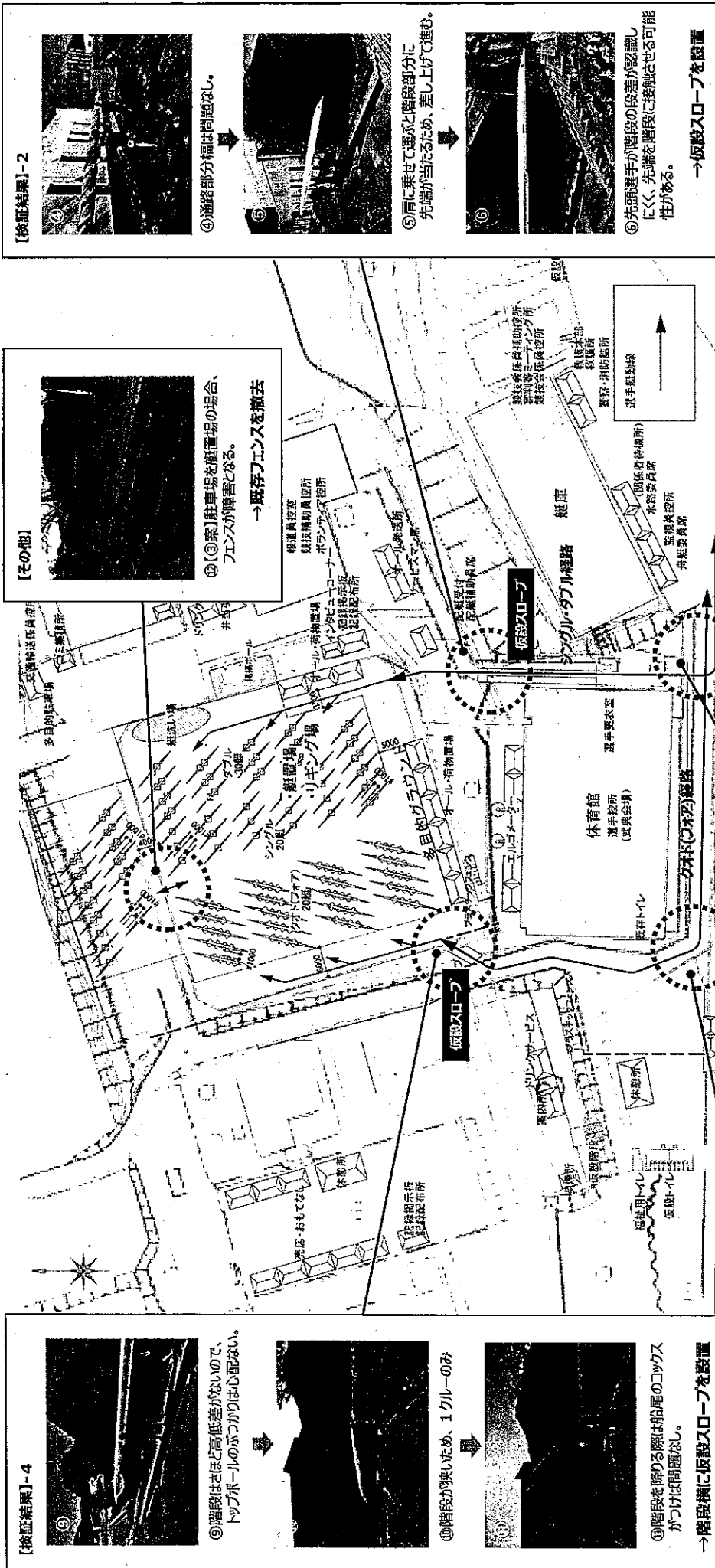
ボート競技会の円滑な競技運営に向け、陸上部における「艇置場、選手控えなどの出場選手エリア」、「競技会本部などの大会運営エリア」、「観覧席やおもてなしなどの一般エリア」のゾーニングを行うとともに、ヒト、モノの動線を検討し、テント、トイレ、電源、スロープなどの仮設物の配置について、効率性、安全性などについて検討する。

2 競技会場

奥伊勢湖漕艇場(大台町弥起井363番地)・・・会場写真



- 艇置場より競技会場までの艇の動線は現地に、クオド(フォア)の艇を用いて検証を行い、動線上の懸念箇所を基に、スムーズな運営を行うため計画を行う。
- ダブル・シングルにおいては、体育館と艇庫の間の通路に仮設スロープを設置し、階段上に仮設スロープを設置し、スムーズな移動ができるよう計画をする。
- クオド(フォア)においては、体育館西側より艇置場と競技会場を往復する動線とする。多目的グラウンドの階段横にスロープを設置する。※勾配・幅などは今後検討



【検証結果】-4

① 階段が狭いため、1クルーのみ

② 階段を降りる際は船尾のコックスがつかは問題なし。→ 階段横に仮設スロープを設置

【その他】

① ② [①案] 駐車場を艇置場の場合、フェンスが障害となる。→ 既存フェンスを撤去

【検証結果】-2

③ 通路部分幅は問題なし。

④ 肩に乗せて運ぶと階段部分に先端が当たるため、差し上げて進む。

⑤ 先頭選手が階段の段差が認識しにくく、先端を階段に接触させる可能性がある。→ 仮設スロープを設置

【検証結果】-3

⑦ 仮設施設の設定を考慮。

⑧ 動線上に障害がなければ問題なし。→ クオド(フォア)の動線とする。

【検証結果】-1

① 両サイドの樹木が障害となる。
② 十分に両サイドの樹木に注意が必要。そのため艇の前後に人がつかなくてはならない。
③ 斜めに侵入するため、低木も障害となる。→ 樹木の伐採を検討

第 76 回国民体育大会 競技施設基準の改定（案）について

第 76 回国民体育大会競技施設基準について、①「国民体育大会における 2020 年オリンピック対策・実行計画」（平成 26 年 6 月）による競技種目の追加及び②（公財）日本体育協会が定める国民体育大会開催基準要項細則の改定に伴い、下記の競技について競技施設基準の改定及び追加を行います。

	競技名	項目	改定内容
① オリンピック対策・実行計画	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準 ・ 基準の主な内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンウォータースイミングに係る競技施設基準の追加 ・ 水球（女子）に係る競技施設基準の追加
	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準 ・ 摘要 ・ 基準の主な内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーチバレーボールに係る競技施設基準の追加
	体操	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準 ・ 摘要 ・ 基準の主な内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トランポリンに係る競技施設基準の追加
② 国民体育大会開催基準要項細則の改定	自転車	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準 	規定のロードレースコース（周回コース）の距離の変更
	柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・ 摘要 ・ 基準の主な内容 	試合場の床面からの高さの変更 （改定前）床面から 50 cm （改定後）床面に直接設置 改定理由：選手の負傷防止
	トライアスロン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 摘要 	規定（スイム 1.5 km、バイク 40 km、ラン 10 km）のコース （改定後）スプリントディスタンス（スイム 0.75 km、バイク 20 km、ラン 5 km）でも可能

2020年オリンピック開催に伴う正式競技 (種目・種別)の追加について

1 経緯

(公財)日本体育協会(以下「日体協」という。)は、平成26年6月に「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」を定め、オリンピックの実施競技・種目で国体において未実施の競技・種目・種別を、オリンピック開催に伴う国体への導入対象競技として選定し、導入条件を充たしたのものから、段階的に国体の正式競技として実施することとしました。

2 第76回国民体育大会(三重とこわか国体)における正式競技導入対象競技

平成29年6月16日に開催された日体協の国民体育大会委員会において、第76回国民体育大会(三重とこわか国体)における正式競技導入対象競技(種目・種別)が、以下のとおり選定されました。

競技	種目等	種別
水泳	水球	女子(成年少年共通)
	オープンウォータースイミング	男子・女子(成年少年共通)
ボクシング		成年女子
バレーボール	ビーチバレーボール	男子・女子(成年少年共通)
体操	トランポリン	男子・女子(成年少年共通)
レスリング		女子(成年少年共通)
ウェイトリフティング		女子(成年少年共通)
自転車	トラック・ロード	女子(成年少年共通)
ラグビーフットボール	7人制	女子(成年少年共通)

3 導入対象競技の会場地市町の選定

導入対象競技の会場地市町の選定にあたっては、「第76回国民体育大会 会場地市町選定基本方針」及び「同選定基準」に基づき、次の(1)～(3)を基準として進めます。

- (1) 市町と競技団体との意向が合致していること。
- (2) 施設、交通、宿泊など実際の運営に必要な環境が整っており、開催が可能であると見込まれること。
- (3) 競合市町がないこと。

なお、日体協の国民体育大会開催基準要項に基づき、まずは同一競技開催市町と調整を進めることとします。

4 今後の対応

会場地市町が選定された競技については、平成30年7月開催予定の日体協の理事会で三重とこわか国体の正式競技として決定されます。

このため、市町及び関係競技団体と連携し、導入対象競技の会場地市町の選定を進めていきます。

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

旧(改定前)

競技名	水泳競技(その1)	競技番号	2
基準	<p>日本水泳連盟公認のプール</p> <p>1 競泳用50mプール 1 (隣接して25m補助プール 1)</p> <p>2 飛込、シンクロナイズドスイミング用プール 1(飛込用として10mの固定台と3mの飛板を備えていること。)</p> <p>3 水球用プール 1</p>		<p>左記1、2、3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい</p>
	概要		

基準の主な内容

- 1～3 省略
- 4 水球用プール【国内基準公認水球プール】
 ①競技使用水面(男子水球) 長辺(ゴールライン間)30.0m 短辺20.0m
 ②水深 2.00m以上とする
 ③ハウンドアリーライン パウンダリーラインは、ゴールラインの後方(外側)0.30mの位置に設置するものとする。
 各ゴールラインとプール壁との距離は、1.66m以上とする
 ※【図3】に示す
 【(財)日本水泳連盟プール公認規則から抜粋 2010.4.1施行】
- ※第6章補則 第126条③
 旧規則のもとで公認または認定を受けたプールについては、当分の間、当該プールの公認または認定を受けたものとみなし、再公認または再認定を与えるものとする。
 【(財)日本水泳連盟プール公認規則から抜粋 2010.4.1施行】

新(改定後)

競技名	水泳競技(その1)	競技番号	2
基準	<p>競泳競技、飛込競技、水球競技及びシンクロナイズドスイミング競技においては、日本水泳連盟公認のプール</p> <p>1 競泳用50mプール 1 (隣接して25m補助プール 1)</p> <p>2 飛込、シンクロナイズドスイミング用プール 1(飛込用として10mの固定台と3mの飛板を備えていること。)</p> <p>3 水球用プール 1</p> <p>オープンウォータースイミング競技においては、既定のコース(5Km)</p>		<p>左記1、2、3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい</p>
	概要		

基準の主な内容

- 1～3 省略
- 4 水球用プール【国内基準公認水球プール】
 ①競技使用水面 長辺 男子(ゴールライン間)30.0m
 女子(ゴールライン間)25.0m
 短辺20.0m
 2.00m以上とする
 ②水深 2.00m以上とする
 ③ハウンドアリーライン パウンダリーラインは、ゴールラインの後方(外側)0.30mの位置に設置するものとする。
 各ゴールラインとプール壁との距離は、1.66m以上とする
 ④ゴールライン ※【図3】に示す
 ⑤設置要領
 【(財)日本水泳連盟プール公認規則から抜粋 2014.4.1施行】
- ※第6章補則 第126条③
 旧規則のもとで公認または認定を受けたプールについては、当分の間、当該プールの公認または認定を受けたものとみなし、再公認または再認定を与えるものとする。
- 5 オープンウォータースイミング
 ①開催地は安全性を考慮し、流れがゆるやかで、海水、淡水もしくは汽水の水域とする。
 ②コース上のすべての地点は、水深が1.4m以上でなければならない。
 ③コースの折返しは、ターンブイ等ですべて明確に表示されなければならない。ターンブイはガイドブイ(補助ブイ)と別の色にしなければならない。
 ④ターンブイやジャッジ艦等は、競技者の折返しの視界を妨害しないように配置される。
 ⑤給水用球櫃、ターンブイ、ターンブイジャッジ艦等は固定され、潮の干満、風もしくはその他の動きに影響されないものとする。
 ⑥ゴールへの最終アプローチは目立つ色のマークやガイドロープで表示され、コースとの境界線を作らなければならない。
 ⑦ゴールは垂直面ではっきりと明示し、表示する。
 【(財)日本水泳連盟「オープンウォータースイミング競技規則から抜粋 2015.4.1施行」】

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

旧(改定前)

新(改定後)

競技名 水泳競技(その2)

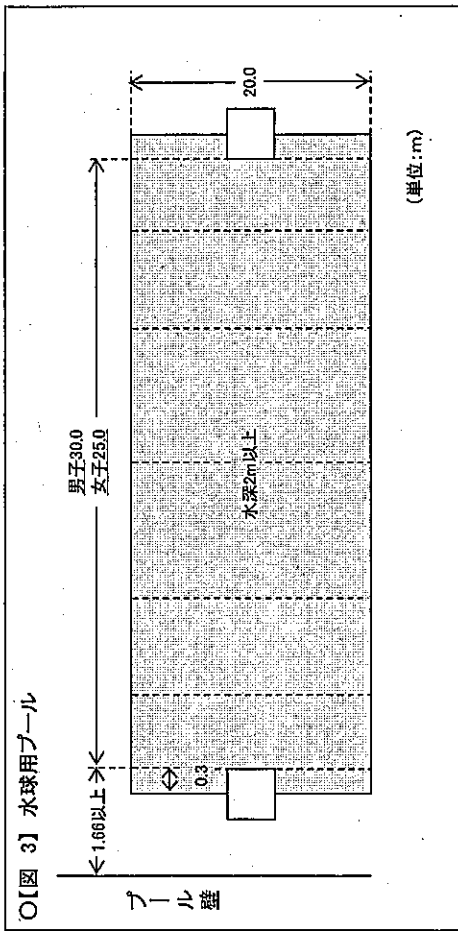
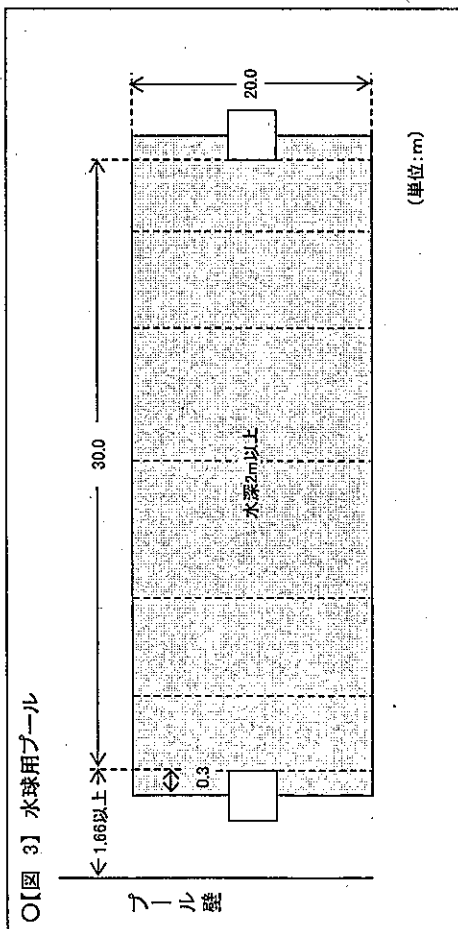
競技名 水泳競技(その2)

競技番号 2

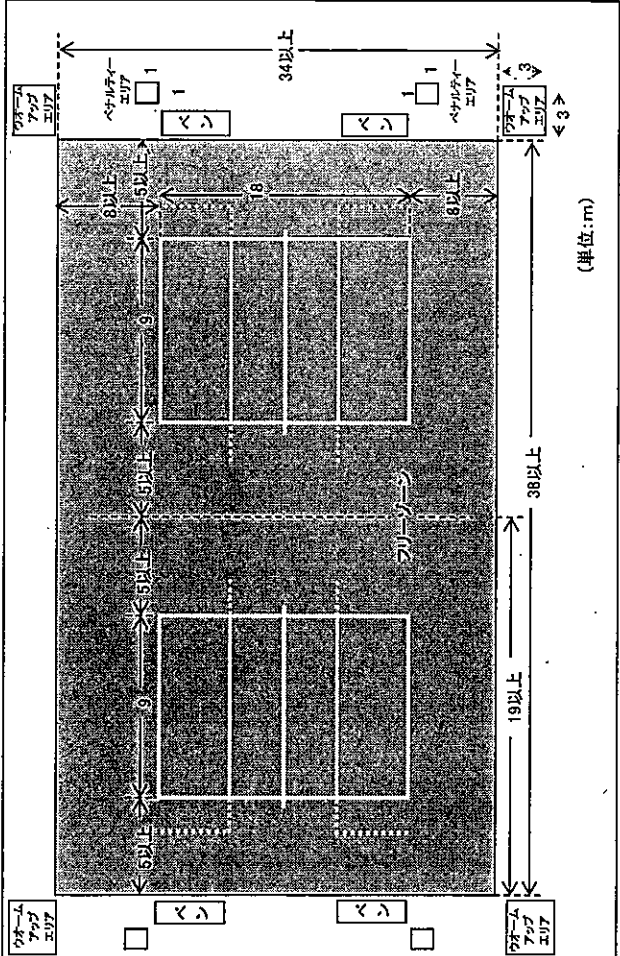
競技番号 2

基準の主な内容

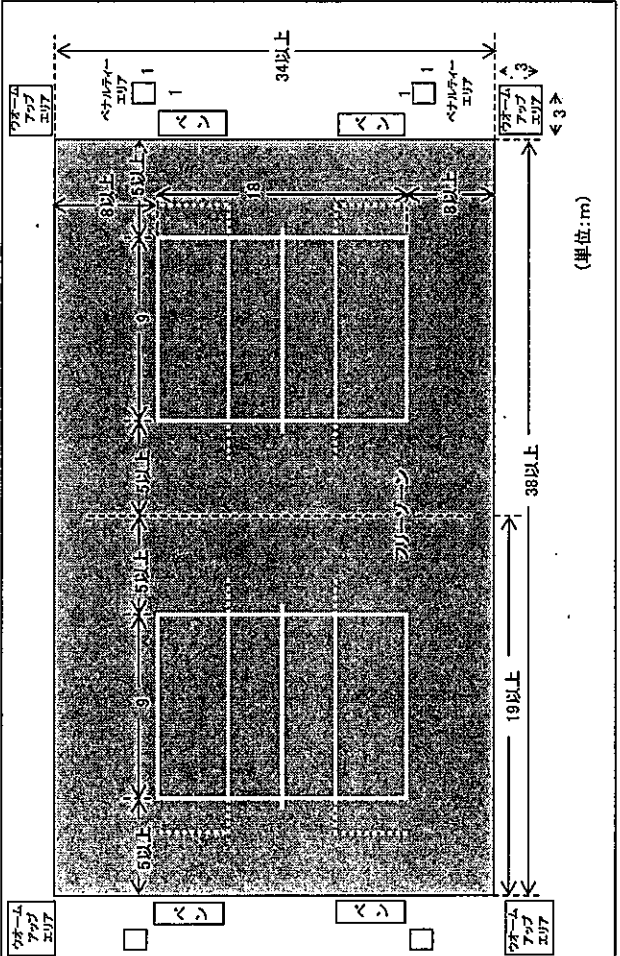
基準の主な内容



第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

新(改定後)	
競技名	バレーボール
競技番号	8
基準	<p>6人制競技においては、規定の屋内コート8面</p> <p>ビーチバレーボール競技においては、既定のコート4面、練習コート1面(男女共有)</p>
概要	<p>(6人制競技)</p> <p>2会場以上に分かれてもよい。2会場の天井の高さは10m以上が望ましいが、7m以上あればよい。</p> <p>(ビーチバレーボール競技)</p> <p>2会場に分かれてもよい。2会場以上空は、ネットの上端から10m以内に障害物がなくこと。</p>
基準の内容	<p>1. 6人制競技</p> <p>コートは次のとおりとする。</p>  <p>(単位:m)</p>

省略

旧(改定前)	
競技名	バレーボール
競技番号	8
基準	<p>規定の屋内コート8面</p>
概要	<p>2会場以上に分かれてもよい。2会場の天井の高さは10m以上が望ましいが、7m以上あればよい。</p>
基準の内容	<p>コートは次のとおりとする。</p>  <p>(単位:m)</p>

省略

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

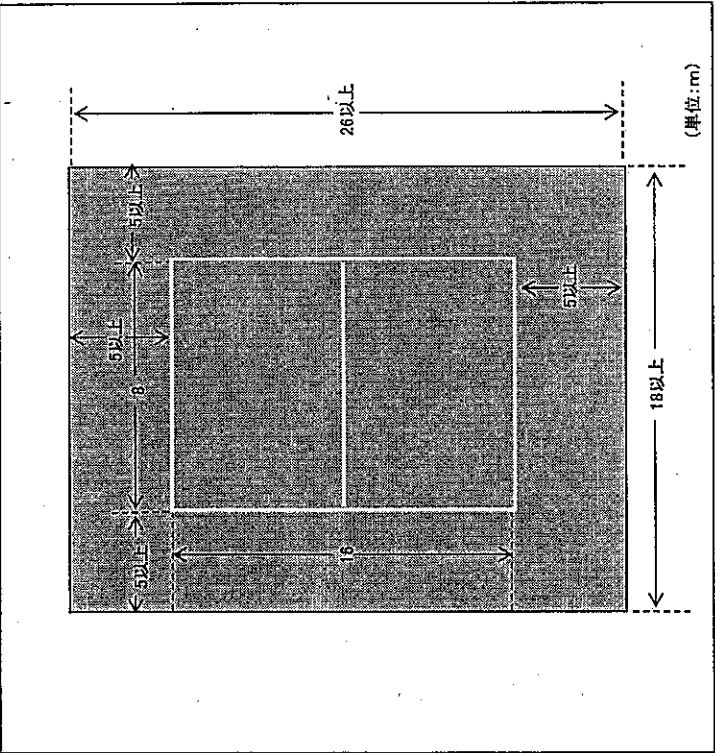
旧(改定前)

新(改定後)

競技名	バレーボール	競技番号	8
-----	--------	------	---

競技名	バレーボール	競技番号	8
-----	--------	------	---

基準	主要内容

基準	主要内容
2.ビーチバレーボール競技 規定のコートは次のとおり	 <p>(単位:m)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コートは18m x 8mの長方形で、エンドライン及びサイドラインから少なくとも5mの幅のフリーゾーンにより囲まれている。 ○地面は、できる限り水平で均一であり、小石、貝殻、その他選手が、切り傷や負傷する危険性のあるものが混じっていない。ならされた砂でなければならない。 ○競技エリアの表面は、選手に負傷の危険が及ばないものでなければならない。 ○フリーゾーン空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技エリアの表面から、少なくとも7mの高さがなければならない。 ○ネットの支柱は、サイドラインの外側1mの位置に設置する。 <p>【(公財)日本バレーボール協会「ビーチバレーボール競技規則」から抜粋】</p>

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

旧(改定前)

競技名	体操	競技番号	9
基準	規定の各器具を設置することができる 体育館 ¹	摘要	2会場地に分かれてもよい。

基準の主な内容	
<p>競技場は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体操競技・器械・器具は、日本体操協会の「器械・器具検定規定」に基づく、体操競技用検定品とする。 <p>○新体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技場は中央の約50m×30mの面積を競技エリアとし、最低14m以上の高さが必要ではない。 ・演技面は13m×13mとし、そのまわりには最低1mの安全地帯を設ける。 なお、演技台を設ける場合は、2mとする。 ・演技面を2面設置する場合は、その間の距離を最低2mとする。 <p>(配慮すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体操競技の競技場の広さは、2,000㎡以上が望ましい。 ○照度は、1,000ルクス以上が望ましい。 ○2会場地とする場合は、競技運営上、体操と新体操を分けて実施する。 ○体操競技は、近接した男女別の練習会場を確保することができる。 <p>(先催県の事例)</p>	<p>〔日本体操協会 新体操 国内規則から抜粋〕</p>

新(改定後)

競技名	体操	競技番号	9
基準	体操競技及び新体操の各器具を設置することができる 体育館 ¹	摘要	(体操競技及び新体操) 2会場地に分かれてもよい。 (トランポリン) 天井高は10m以上が望ましい。 トランポリン器具周辺の安全マットの厚さは20cmとする。

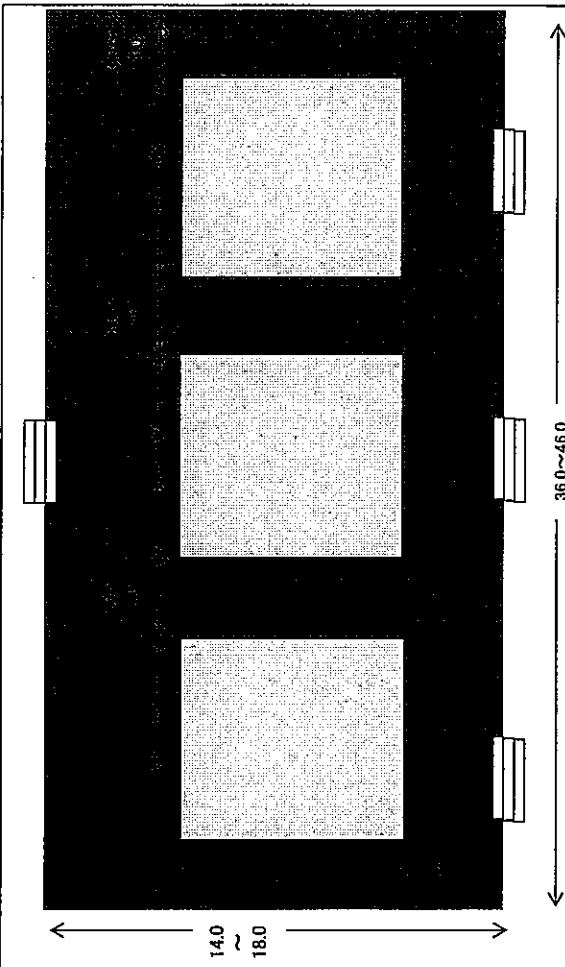
基準の主な内容	
<p>競技場は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体操競技・器械・器具は、日本体操協会の「器械・器具検定規定」に基づく、体操競技用検定品とする。 <p>○新体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技場は中央の約50m×30mの面積を競技エリアとし、最低14m以上の高さが必要ではない。 ・演技面は13m×13mとし、そのまわりには最低1mの安全地帯を設ける。 なお、演技台を設ける場合は、2mとする。 ・演技面を2面設置する場合は、その間の距離を最低2mとする。 <p>○トランポリン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井高は10m以上が望ましい。 ・トランポリン器具周辺の安全マットの厚さは20cmとする。 <p>(配慮すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体操競技の競技場の広さは、2,000㎡以上が望ましい。 ○照度は、1,000ルクス以上が望ましい。 ○2会場地とする場合は、競技運営上、体操と新体操を分けて実施する。 ○体操競技は、近接した男女別の練習会場を確保することができる。 <p>(先催県の事例)</p>	<p>〔日本体操協会 新体操 国内規則から抜粋〕</p>

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

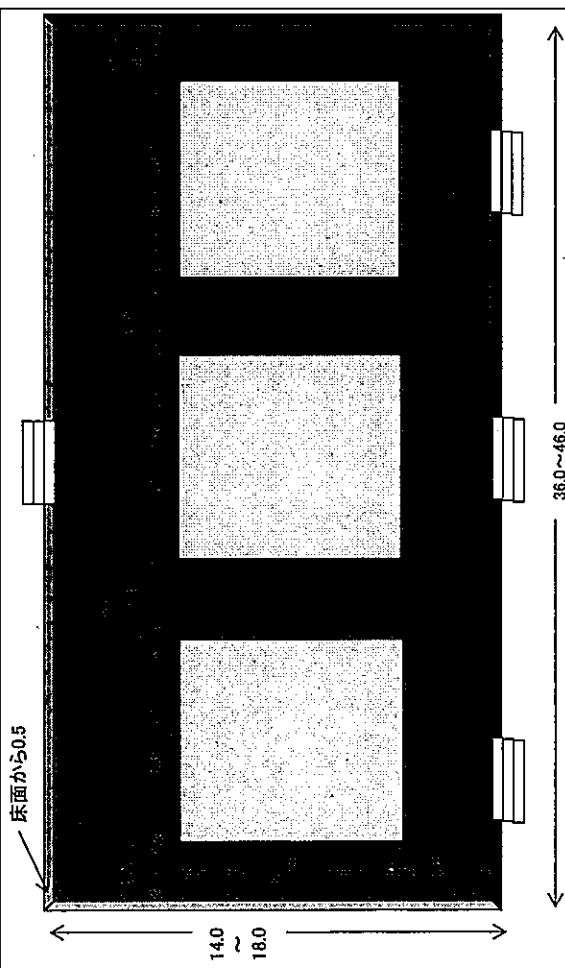
新(改定後)		
競技名	自転車	競技番号
基準	規定の競技場 1 規定のロードレースコース (1周の周長が少なくとも10km以上で あり、10~15kmを原則とする周回ロード コース)	15
基準の主な内容		
1~2 省略		
(配慮すべき事項) ○選手の安全対策(極端な道狭、落石等)に配慮したコース設定ができる。		
(先催県の事例)		

旧(改定前)		
競技名	自転車	競技番号
基準	規定の競技場 1 規定のロードレースコース (1周20km~30kmの周回ロードコース)	15
基準の主な内容		
1~2 省略		
(配慮すべき事項) ○選手の安全対策(極端な道狭、落石等)に配慮したコース設定ができる。		
(先催県の事例)		

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

新(改定後)	
競技名	柔 道
競技番号	22
基準	<p>規定の競技場3面を有する柔道場又は体育館1 試合会場に隣接した練習場1(150畳程度)</p> <p>概要</p> <p>試合場は原則として床面に直接畳を設置する。ただし、床面が固く、弾力が無い場合はかさ上げをすするなど、選手の安全を考慮して設置する。</p>
<p>基準の主な内容</p> <p>競技場は、次のとおりとする。</p>  <p style="text-align: right;">(単位:m)</p>	

○2つ以上の隣接した試合場を設置する場合、両試合場の間に3~4mの共用の安全地帯をとらなければならない。
〔国際柔道連盟試合審判規定から抜粋〕

旧(改定前)	
競技名	柔 道
競技番号	22
基準	<p>規定の競技場3面を有する柔道場又は体育館1 試合会場に隣接した練習場1(150畳程度)</p> <p>概要</p> <p>試合場は床面から50cm上げたところに設置する。</p>
<p>基準の主な内容</p> <p>競技場は、次のとおりとする。</p>  <p style="text-align: right;">(単位:m)</p>	

○2つ以上の隣接した試合場を設置する場合、両試合場の間に3~4mの共用の安全地帯をとらなければならない。
〔国際柔道連盟試合審判規定から抜粋〕

第76回国民体育大会競技施設基準の改定(案) 新旧対照表

旧(改定前)

競技名	トライアスロン	競技番号	38
基準	規定のコース(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)	摘要	

基準の主な内容

○(社)日本トライアスロン連合が適当と認めるコースとする。

(配慮すべき事項)

- 選手的安全対策(極端な道狭、落石等)に配慮したコース設定ができる。
- 競技の特殊性から選手の健康管理、安全対策に随時対応ができる態勢が図られていること。
- 競技運営上、周回コースが望ましい。

(先催県の事例)

新(改定後)

競技名	トライアスロン	競技番号	38
基準	規定のコース(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)	摘要	スプリントディスタンス(スイム0.75km、バイク20km、ラン5km)でも可能とする。

基準の主な内容

○(社)日本トライアスロン連合が適当と認めるコースとする。

(配慮すべき事項)

- 選手的安全対策(極端な道狭、落石等)に配慮したコース設定ができる。
- 競技の特殊性から選手の健康管理、安全対策に随時対応ができる態勢が図られていること。
- 競技運営上、周回コースが望ましい。

(先催県の事例)

第76回国民体育大会 開・閉会式会場等整備について

1 第72回国民体育大会「2017^{えがお}愛顔つなぐえひめ国体」の報告

(1) 実施状況

① 会期

本大会 平成29年9月30日(土)～10月10日(火)
 会期前実施競技 平成29年9月9日(土)～9月17日(日)

② 参加者数

H29.10.10 現在速報値(単位:人・延べ数)

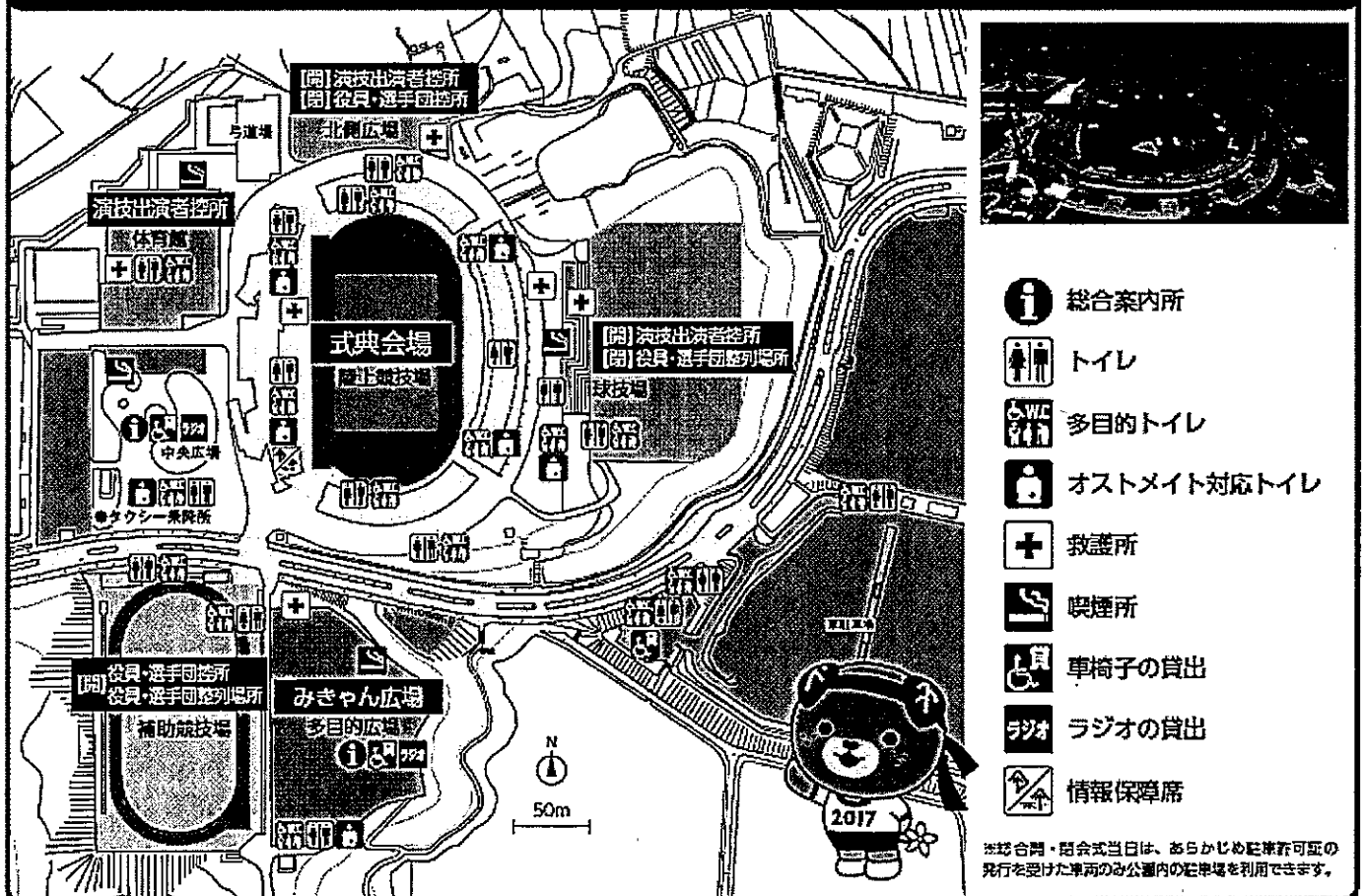
区分	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
総合開会式 9/30(土)	4,370	11,125	13,266	28,761
総合閉会式 10/10(火)	1,530	5,415	7,723	14,668
合計	5,900	16,540	20,989	43,429

③ 開・閉会式会場

愛媛県総合運動公園陸上競技場(松山市)〔ニンジニアスタジアム〕

総合開・閉会式会場図

〔愛媛県総合運動公園陸上競技場(ニンジニアスタジアム)〕



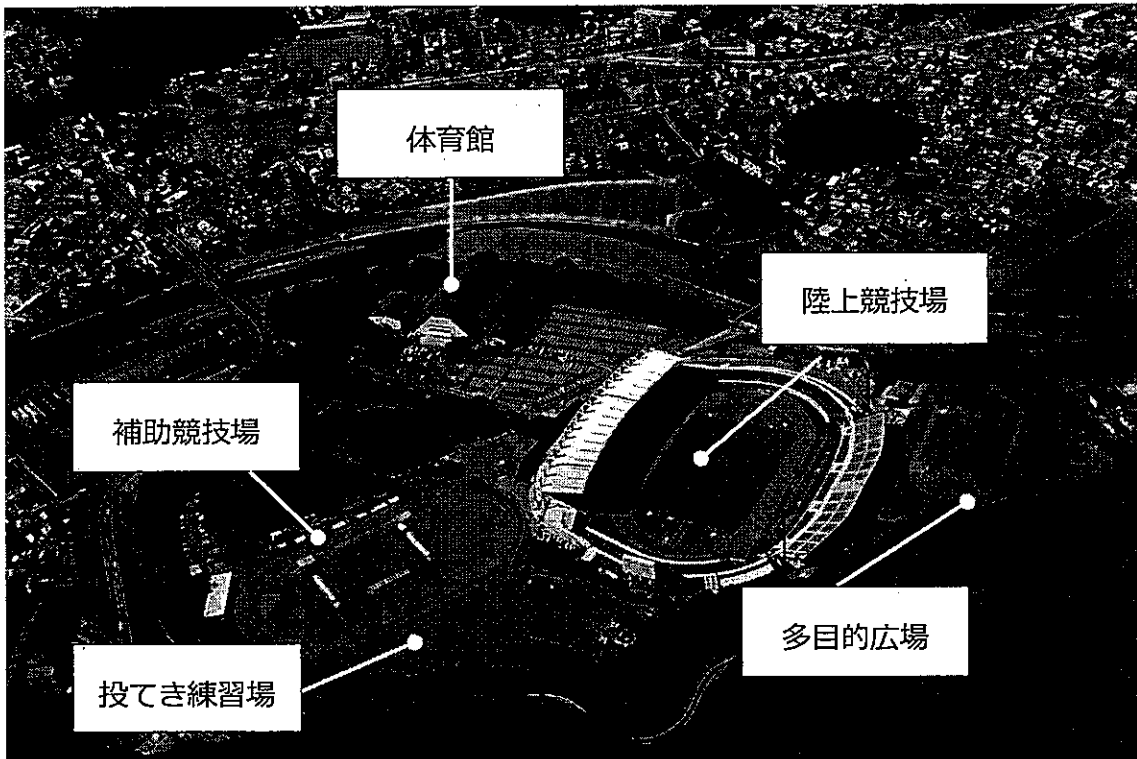
2 第76回国民体育大会開・閉会式会場の状況について

会場 三重交通 G スポーツの杜 伊勢 (三重県営総合競技場)

所在地 三重県伊勢市宇治館町 510 番地

施設概要 (陸上競技場)

- ・(公財) 日本陸上競技連盟 第1種公認陸上競技場、国際陸上競技連盟認証クラス2
- ・全天候型ウレタン舗装 400m×9レーン
- ・観客椅子席 12,574席 (内、メインスタンド7,114席、車椅子席72席)、芝生席6,493席相当 計19,067席



3 開・閉会式会場等施設整備スケジュール

開・閉会式の会場等整備基本計画作成から開催年(平成33年)までの会場整備は、基本計画⇒基本設計⇒実施設計⇒会場整備となります。

基本計画の策定にあたっては、会場整備の方針や会場内のゾーニング、動線計画、会場装飾、転換計画の素案などを関係各所と調整しながら定めていきます。

今後は開催2年前に基本設計、開催1年前に実施設計、開催年度に会場整備を行うため、来年度(開催3年前)は基本計画に基づき、関係機関と調整業務を行う予定です。

- 平成29年度(開催4年前)・・・会場内のゾーニング、動線計画の素案作成
- 平成30年度(開催3年前)・・・関係機関(県警、伊勢市等)との調整
- 平成31年度(開催2年前)・・・基本設計(基本図面、会場サイン計画)
- 平成32年度(開催1年前)・・・実施設計(詳細図面、会場詳細サイン設計)
- 平成33年度(開催年)・・・会場整備

4 基本計画案作成の視点（意見交換事項）

開・閉会式には約3万人の入場者や行幸啓があるなど、大規模なイベントであり、開催に向けては会場等整備の基本計画を策定し、万全な準備を行う必要があります。

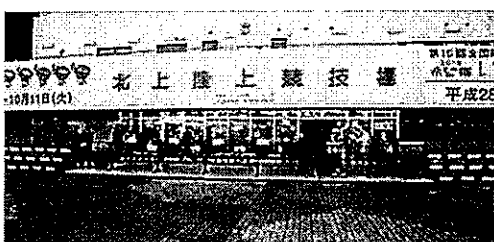
開・閉会式会場である三重交通Gスポーツの杜 伊勢は、先催県と比較すると、敷地が狭く山と川に囲まれていることから、利用できる敷地に制限があるうえ、観光客の多い伊勢神宮に隣接していることから交通量も多く、多くの課題が見込まれています。

また、国体の閉会式終了後は全国障害者スポーツ大会の開会式も控えており、来場者の安全性、快適性、機能性を確保し、安全・安心を第一に基本計画を作成する必要があります。

○先催県の基本計画の作成に係る視点を踏まえた本県の視点

I 安全性の確保

選手・監督・出演者・一般来場者など、全ての人の安全性を考慮した会場計画を行う。



II 快適性の確保

障がいのある方や高齢者、子どもなど、全ての人が快適に利用することができる会場計画を行う。



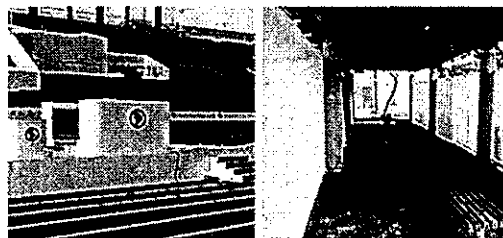
III 機能性の確保

必要な施設を適正な規模で配置することで、利用者の利便性を考慮した会場計画を行う。



IV 効率性の追求

既存施設を最大限に活用することで、仮設物の設置を最小限に抑えた会場計画を行う。



V 環境への配慮

3R（リユース・リデュース・リサイクル）を基本とした、環境に優しい会場計画を行う。

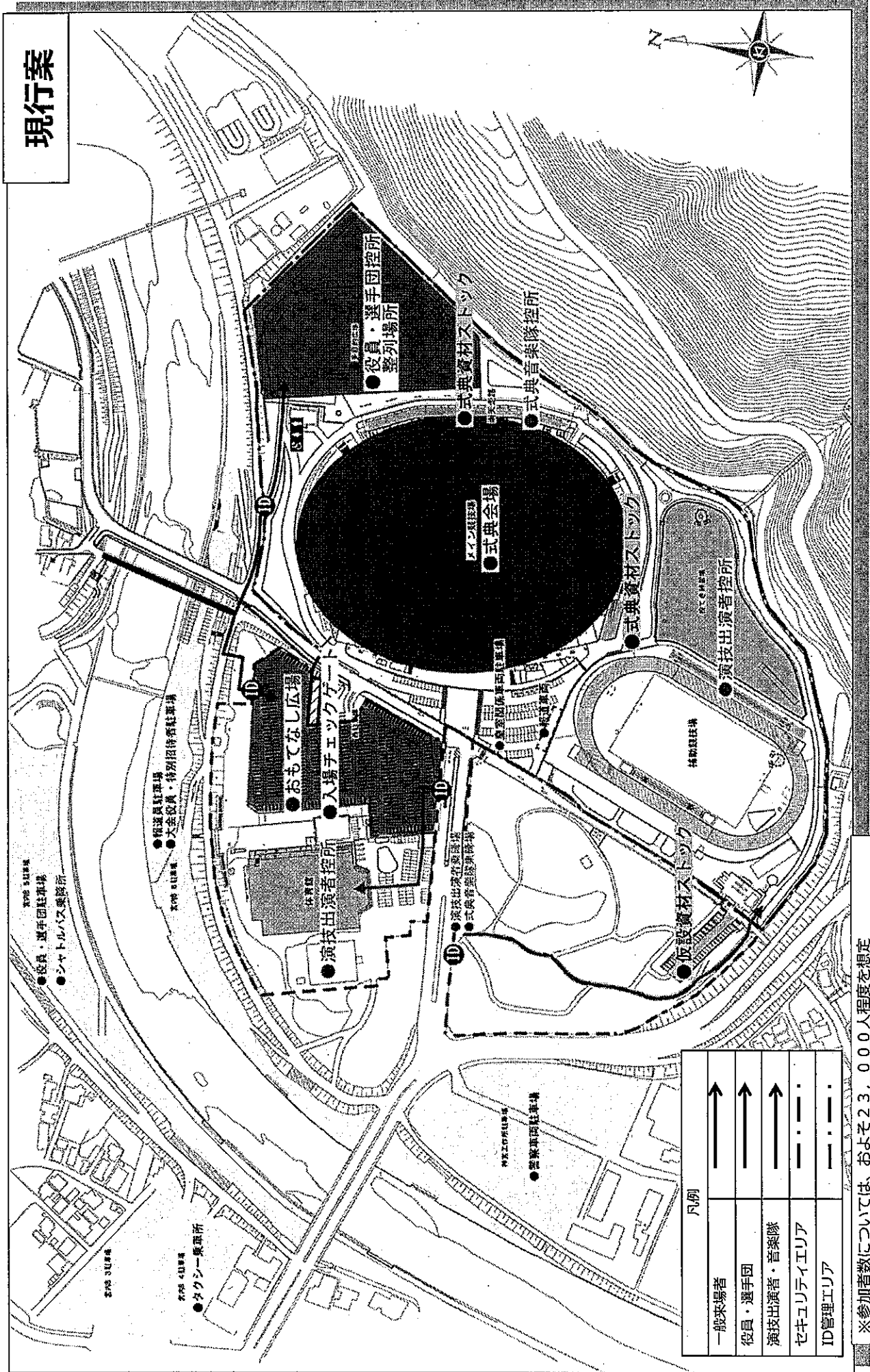


VI 三重らしさの創出

可能な限り三重県産の素材を会場装飾に取り入れることで、「みえ」の魅力を発信することができる会場計画を行う。



開・閉会式会場のゾーニング及び動線（案）



現行案

凡例	
一般来場者	↑
役員・選手団	↑
演技出演者・音楽隊	↑
セキュリティエリア	— · — · — · — · — · — ·
ID管理エリア	— · — · — · — · — · — ·

※参加者数については、およそ23,000人程度を想定

今後の国体開催準備スケジュール

平成29年度から平成30年度にかけての国体開催準備（施設専門委員会関係分）については、下記のとおり会議開催等を予定しています。

年 度	月	内 容
平成29年 (4年前)	3月	○第11回常任委員会(3/19) ・競技施設基準の改定の報告
平成30年 (3年前)	随時	□開・閉会式会場等整備基本計画に基づく関係者調整 (県警、伊勢市、輸送などと調整)
	7～8月	□全国高等学校総合体育大会視察 (会場整備、仮設整備、ゾーニング及び動線等について確認)
	9～10月	□福井しあわせ元気国体視察 (会場整備、仮設整備、ゾーニング及び動線等について確認)

凡例 ○:会議等の開催 □:開催準備活動

注:開催時期や内容は、いずれも予定であり、準備の進捗により変動することがあります。

第76回国民体育大会三重県準備委員会

施設専門委員会 委員名簿

(順不同：敬称略)

選出区分	所属機関・団体・役職名	氏名
市町関係	三重県市町教育長会 (三重県都市教育長部会長、名張市教育長)	上島 和久
	三重県市町教育長会 (三重県町教育長部会長、東員町教育長)	岡野 譲治
スポーツ関係	(公財) 三重県体育協会 理事長	東地 隆司
	三重県スポーツ推進審議会 委員 (三重県小学校体育研究会会長 四日市市立 桜台小学校校長)	宇佐美 好孝
学校関係	三重県高等学校体育連盟 (ボート専門委員長)	丸山 亮太
	皇學館大学教育学部 教授	小木曾 一之
福祉・障がいスポーツ関係	ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会 会長	宮崎 つた子
県関係	健康福祉部 地域福祉課長	磯田 晋一
	地域連携部スポーツ推進局 スポーツ推進課長	林 幸喜
	県土整備部 道路管理課長	中平 弘
	県土整備部 河川課長	松本 英之
	県土整備部 港湾・海岸課長	城本 典洋
	教育委員会事務局 学校経理・施設課長	田中 彰二
	教育委員会事務局 保健体育課長	野垣内 靖